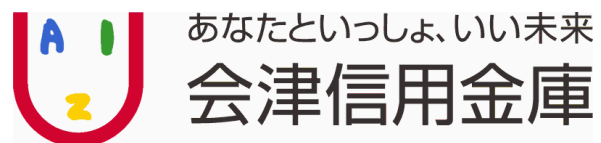


地域の成長と価値創生に向けた金融仲介の取組み

～金融仲介機能のベンチマーク(令和4年3月末基準)～



1. 金融仲介機能の取組み方針

- 当金庫は、中期経営計画『支援力の強化と変革への挑戦 2021～課題解決による地域経済の力強い回復を目指して～』において、「課題解決型金融の取組み強化」を経営課題の1つに掲げ、各種施策に取り組めます。
- 当金庫の取組みに対する客観的な指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、金融仲介機能の質を一層高めてまいります。

「支援力の強化と変革への挑戦 2021」

～課題解決による地域経済の力強い回復を目指して～

計画期間：令和3年4月～令和6年3月（3年間）

計画目標

地域社会に必要とされる金融機関であり続ける

課題

1. 課題解決型金融の取組み強化
2. 収益力の強化
3. 経営基盤・管理態勢の強化
4. 人材確保・育成の取組み

ベンチマークの
積極的な活用

金融仲介機能の質の向上

課題解決の取組み強化

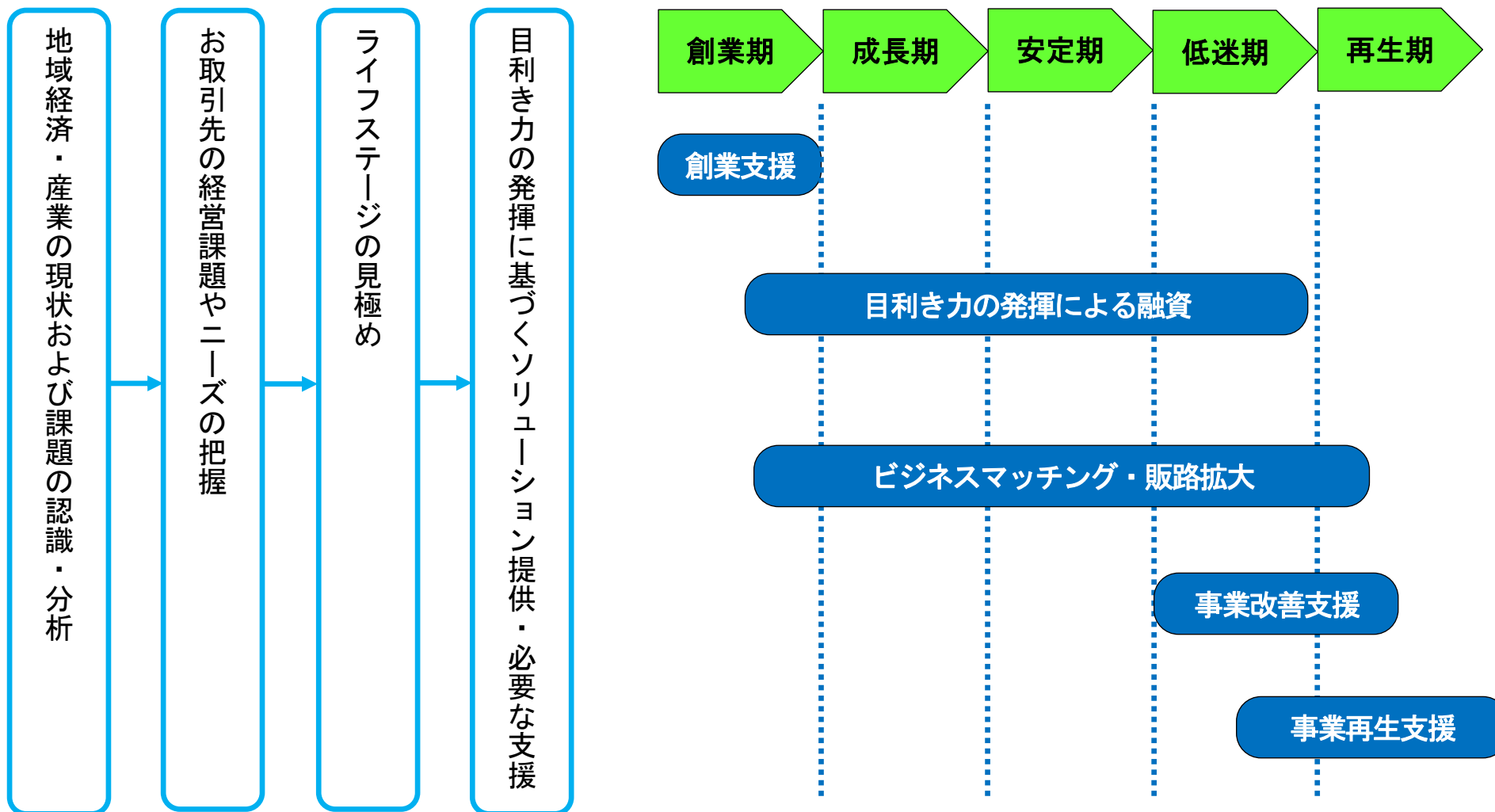
成長支援等の取組み強化

独自性・特性の発揮

※「金融仲介機能のベンチマーク」とは、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標のことです。

2. 地域経済の活性化に向けた取組み概要

■ 地域密着型金融の推進などを通じて適切な金融仲介に努め、お取引先の資金調達への対応や成長を支援し、地域経済の活性化に貢献します。



3. お取引先（中小事業者のお客さま）の状況

- お客さま本位のサービスの徹底によって、取引先数の拡大を図っています。
- あらゆるライフステージのお取引先と、経営状況に合わせた様々な取引を推進します。
- 金融仲介機能の発揮によって、お取引先の成長と改善に貢献します。

◆取引先数の推移

(単位:社)

	令 2/3	令 3/3	令 4/3
取引先数	1,444	1,610	1,608
都市部	959	1,090	1,080
その他	485	520	528

※都市部：会津若松市・喜多方市

※その他：会津地区の町村

選択ベンチマーク 1

- 地区内の事業所数は減少傾向にありますが、取引先数は「都市部」「その他の町村」ともに横ばいで推移。

◆ライフステージ別の融資取引先数（令 4/3）

(単位:社、億円)

	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期	計
先数	49	59	733	49	61	951
融資残高	18	38	356	32	35	479

※創業期は創業5年以内、成長期・安定期・低迷期は売上増加率により区分、再生期は貸出条件変更先および延滞先

※集計対象：与信残高10百万円以上の融資取引先

共通ベンチマーク 4

- 売上順調な先(成長期・安定期)は前期 736→792(増加)
- 創業期先は前期 39→49(増加)、低迷期先は前期 37→49(増加)、再生期先は前期 72→61(減少)

◆経営指標が改善した先（令 4/3）

(単位:社、億円)

	メイン先	うち改善先
先数	601	383
融資残高	323	218

※売上高、営業利益、雇用者数のいずれかが前年度比改善した先

※集計対象：与信残高10百万円以上の融資取引先

共通ベンチマーク 1

- 経営指標が改善した先数は、前期 442→383(減少)
- メイン先数は前期 585→601(増加)
メイン先融資残高は前期 325 億円→323 億円(減少)

4. 創業・成長支援、観光誘客支援

- 地域の持続的な発展に資するため、創業や成長支援による地元産業の育成、雇用創出に取り組んでいます。
- 金庫内や信用金庫業界のネットワークを活用し、商談や情報提供の場を提供しています。
- 原発事故風評被害払拭を目指し、業界のネットワークを活用し観光誘客活動に取り組んでいます。

◆創業支援件数、融資額(令和3年度) (単位:件、百万円)

創業件数	6
融資金額	177

共通ベンチマーク3

- 創業を目指すお取引先の資金調達ニーズに対応
(不動産賃貸業2先、整体・マッサージ業2先、電気工事業1先、清掃業1先)

◆本業支援先数(令和3年度) (単位:社)

ビジネスフェア出展	8
販路拡大支援	5

選択ベンチマーク12

- 業界の中央団体や連携信用金庫が開催するビジネスフェアに参加するほか、販路拡大支援をサポート
「ビジネスマッチ東北2022春」(当金庫取引先8社出展)
「すごもり商談会」(当金庫取引先3社申込のうち1社採択)
「EC販路拡大商談会」(当金庫取引先2社申込)

◆観光客誘客数(令和元年度) (単位:人)

平成23年度~29年度	31,057
平成30年度	3,691
令和元年度	580
合計	35,328

- 東日本大震災・福島原発事故からの復興・風評被害払拭を目指し、信用金庫業界の団体旅行の誘客に取り組んでいます。
- 平成23年度からの累計誘客数は、35,328人となっています。
- 全国の信用金庫に「極上の会津」を発送しました。(令和3年12月)

※ 令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で観光客誘客は実施していません。

5. 担保・保証に過度に依存しない融資

- 担保・保証に過度に依存することなく、お取引先の成長可能性や事業の将来性を適切に評価したご融資に取り組んでいます。
- 経営者保証に関するガイドラインに基づき、経営者保証に依存しない融資について、ご相談に応じています。

◆ 目利き力の発揮による融資先(令4/3) (単位:社、億円)

選択ベンチマーク7

	地元中小企業融資	無担保融資
融資先数	1,608	1,307 (81.3%)
融資残高	480	216 (45.0%)

- 経営事業内容や返済能力を重視した審査により、無担保融資先は8割を超える1,307先
- 無担保融資残高は前期 228 億円→216 億円

◆ 無保証融資先(令4/3) (単位:社)

選択ベンチマーク9

	地元中小企業融資	無保証メイン
融資先数	1,608	358 (22.3%)

※信用保証協会と保証会社の保証がない先

- 信用保証協会や保証会社の保証がないメイン先は、地区内融資先の2割を超える358先

◆ 経営者保証がガイドライン活用先(令4/3) (単位:社)

選択ベンチマーク11

	全与信先	活用先
融資先数	1,608	86 (5.3%)

- 経営者保証の必要性は、お取引先の経営状況と保証提供の意向を踏まえて判断。活用先比率は前期4.7%→5.3%増加

6. 経営改善、事業再生支援

- 外部機関との連携による経営指導、および経営改善計画書の策定支援に取り組んでいます。
- 取引先の資金繰り支援として、短期継続型融資に取り組んでいます。
- 外部機関を活用し、お取引先の事業再生支援に取り組んでいます。

◆貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善

計画の進捗状況(令4/3) (単位:社)

	先数	好調先	順調先	不調先
条件変更先	116	47	28	41

共通ベンチマーク 2

- 経営改善計画策定支援、ビジネスマッチング等の本業支援
- 経営改善計画が好調先 34→47(増加)、順調先 38→28(減少)
不調先 50→41(減少)

◆運転資金に占める短期融資の割合

(単位:億円)

	運転資金額①	短期融資額②	②/①
融資額	414	28	6.8%

選択ベンチマーク 33

- 運転資金融資額に占める短期融資額の割合は 6.8%

◆中小企業再生支援協議会との連携(令和3年度) (単位:社)

支援先数	1
------	---

選択ベンチマーク 42、43

- 福島県中小企業再生支援協議会と連携(1社)

◆本業支援に中小企業支援策活用(令和3年度) (単位:社)

支援先数	19
------	----

- 福島県よろず支援拠点(2社)
- 事業再構築補助金申請(17社)

7. 地方創生への取り組み

- 信用金庫ネットワークを活かした広域連携活動等で、地域経済の持続的発展に取り組んでいます。
- 文化、地域経済、教育の面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでいます。

<p>「東北・夢の桜街道運動」絵画展開催</p>	<p>ボイスポリス設置による なりすまし詐欺防止</p>	<p>日本財団「わがまち基金」を活用した地方創生支援</p>
		<p>日本財団「わがまち基金」にて栃木県の鹿沼相互信用金庫とともに観光活性化事業が採択され、鹿沼・日光、会津の両地域の観光活性化に向けて取り組んでいます。令和4年5月には会津西街道沿線の観光を盛り上げるため「会津西街道御宿場印」を発売しました。</p> 
<p>「ビジネスマッチ東北 2022 春」への出展</p>	<p>SCB ふるさと応援団により会津若松市に寄付</p>	<p>SDGsに対する取組み</p>
		<p>【県内8金庫によるSDGs 共同宣言】 福島県内8信用金庫と三井住友海上火災保険株式会社において「SDGsに関する包括連携協定書」を締結し、取引先の持続的成長と地域経済の活性化に取り組んでいます</p> <p>【こどものみらい古本募金】 SDGsのゴール1に位置付けられている「子供貧困対策」を支援する活動として、福島県内8信用金庫共同で古本回収による寄付活動に取り組んでいます。</p>